

平成30年度 業績優秀者返還免除申請書

(様式1-1表)

平成31年 3月 1日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

本申請書記載事項に相違ありません。
免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優

直筆でサイン、押印をお願いします。



フリガナ
氏 名

ワカヤマ タロウ
和歌山 太郎



大 学 院 名	和歌山大学大学院		
課 程	<input type="radio"/> 修士（博士前期）課程	<input type="radio"/> 専門職大学院課程	<input type="radio"/> 博士（博士後期）課程
研究科名・専攻名	〇〇学研究科	学 籍 番 号	〇〇〇〇〇〇〇〇
奨 学 生 番 号	6 〇 〇 0 6 〇 〇 〇 〇 〇 〇	生 年 月 日	昭 和 〇 年 〇 月 〇 日 平 成 〇 年 〇 月 〇 日
現 住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 電話番号 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇		

■大学院における研究課題等

題 目	〇〇を目指した〇〇手法に関する研究
概 要	(※研究課題の詳しい概要を記入してください。)

在籍中に実施した活動について、
当てはまるものに〇をしてください。
なお、この図は募集要項・表面の
評価基準の表にリンクしています。



■教育研究活動等の業績

<input checked="" type="radio"/> 1	学位論文その他の研究論文	<input type="radio"/> 2	大学院設 める特定 研究の成果	<input type="radio"/> 3	6条の2に 掲げる結果
<input type="radio"/> 4	著書、データベースその他の 著作物（1及び2に掲げる ものを除く。）	<input type="radio"/> 5	発明	<input checked="" type="radio"/> 6	授業科目の成績
<input checked="" type="radio"/> 7	研究又は教育に係る補助業 務の実績	<input type="radio"/> 8	音楽、演劇、美術その他芸術 の発表会における成績	<input type="radio"/> 9	スポーツの競技会における 成績
<input checked="" type="radio"/> 10	ボランティア活動その他の 社会貢献活動の実績				

記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。

業績1：学位論文その他の研究論文	
■学内における教育研究活動などの評価	
・学位論文審査が極めて優秀であった。・・・別紙①	
■学外における教育研究活動などの評価	
□学会発表	
・「○○○を目的とした○○アプリ開発」 出典：○○情報学会2017年○月号○ページ・・・別紙②	
・○○情報学会 学術奨励賞 受賞 2017年○月号・・・別紙③	
・「Development of ※※ for ○○ information in Science」 (査読有、2017年○月)・・・別紙④	
業績6：授業科目の成績	
・研究科での成績が上位10%以内であった。・・・別紙⑤	
業績7：研究又は教育に係る補助業務の実績	
・TA (○○体験演習でのレポート精査の補助) 2017年○月○日～○月○日・・・別紙⑥	
業績10：ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績	
・オープンキャンパスでの広報活動・・・別紙⑦	

前項の質問で○をつけた業績について詳しく記入してください。また、業績の証明として、別紙を必ず添付してください。



【返還誓約書の提出について】
 該当するいずれかの□に✓すること。(提出予定の場合は提出予定年月も記載)
 提出済み 提出予定 (平成 年 月 大学へ提出予定)

【口座振替 (リレー口座) 加入申込の手続きについて】
 該当するいずれかの□に✓すること。(手続き予定の場合は予定年月も記載)
 手続き済み 手続き中 手続き予定 (平成 年 月)

提出または手続きが確認できない場合、申請を受け付けません。

- 【記入上の注意】
- 「課程」欄は、該当するいずれかの□に✓すること。
 - 「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。貸与終了後に連絡先が変更となる場合、返還のてびき(17頁)を参照のうえ、必ず5月末までに機構に届け出ること。
 - 「教育研究活動等の業績」欄は、該当する数字を○で囲むこと。ただし、専攻分野に関連した業績に限る。
 - 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
 - 大学院における成績証明書及び特に優れた業績であることを証明する資料を必ず添付すること。(成績証明書は「教育研究活動等の業績」欄で「授業科目の成績」を選択していない場合でも提出が必要。)
- (注) これは様式1-1 (裏面) です。印刷は、様式1-1表裏の両面刷りとする。

◆指導教員等の推薦理由

(様式1-2)

奨学生番号	6 ○ ○ 0 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○	学 籍 番 号	○○○○○○○○○
氏 名	和歌山 太郎	研究科名・専攻名	○○学研究科

上記のように自身の氏名等を記入したら、指導教員に送付し、推薦内容の記入を依頼してください。

和歌山君は、当研究室で非常に優秀な成績を修めています。

論文も○○学会全国大会において、「○○データの構築」という題目で、登壇発表とデモ発表の両方を行ないました。

学会発表にも意欲的に取り組み、「10th International Synmposium -----・-----」では、研究発表も兼ねた会場の補助要員として参加し、海外の学生と協力して会場の運営補助を行いました。

研究室での活動においても、国立○○研究所のプロジェクトの研究支援員として自ら多くの共同研究者と連携を取りながら積極的に研究に取り組んでいます。

また、提案した「日常的に利用可能な○○システム」の研究成果について、和歌山君は△△学会、□□学会、シンポジウム、研究会で成果発表を行い、これまでに5件の優秀発表賞、優秀論文賞を受賞しています。この成果は、学術論文として、日本の最大規模の学会である××学会の論文誌に2報掲載済みです。

また、和歌山君は、○○チームのリーダーとして活躍し、チームメイトを大きくリードする重要な役割を果たしました。○○の研究や※※の研究も積極的に行うなど、チームに大きく貢献し、2016年度の×××××学会主催のJAPAN・○○イノベーションで最優秀賞を受賞するのに、重要な役割を担いました。さらに、大学院1年生時にはTAとして、レポート精査の補助を務めるなど、大学教育にも貢献しました。

このように、和歌山君は、さまざまな点において、優れた能力を発揮しました。

自らの研究に継続して取り組み続ける和歌山君の姿は、奨学生としてふさわしい人物像と断言できます。

上記の理由により、業績優秀者の返還免除に、和歌山君を強く推薦いたします。

この学生は、貴機構の特に優れた業績による返還免除に該当していることを認めます。

平成 31 年 3 月 1 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長殿

日付、職名、教員名は、直筆で指導教員に記入してもらってください。

職名 教授

指導教員名 海南 次郎

印